

英語を楽しく

No.374

☆英語の文法も時代と共に変わる。

I have one apple.

中学1年生の時、英語の先生から、

「りんご1つは one apple という、また an apple ともいう。」

と教えられたことはありませんか。でもこの時、

「どうして？」

と思いませんでしたか。one はもちろん1つのいみですが、 a も an も1つの意味ですね実。実は例えば

I have one apple.と言っていたのが

↓

I have an apple. に変わり、

↓

I have a (A). に変わったのです。

(A) の中は母音で始まらない単語が来ます。

I have a apple.とは言いにくいので、

母音で始まる単語には、

an apple, an orange と an と言った方が言い易いですね。

I have an book.とは言いにくいので、

a + 子音で始まる単語

a book, a car とは言い易い

まとめ

(1つ) one → an → a と

これらより後ろに続く単語が発音しやすいように変化

したと考えられます。

「one」 が 「a」 になっていったのですねえ。

